

三重県熊野市で、末期の胆嚢がんと診断された60歳代の女性は2020年春、退院し、自宅で療養することにした。直前、病院から連絡を受けた同市のケアマネジャーの富田啓暢さん(76)は、女性が戻ったばかりの自宅を訪問。介護の必要度合い「要介護度」を判定してもらうため、自治体に申請し、調査員による訪問調査を怠ぐように頼んだ。

要介護認定の前でも、ケアマネジャーが暫定的なケアプラン(介護計画)を作れば、サービスの利用を開始できるため、女性は介護ベッドを申し込み、すぐに福祉用具の業者に運んでもらった。

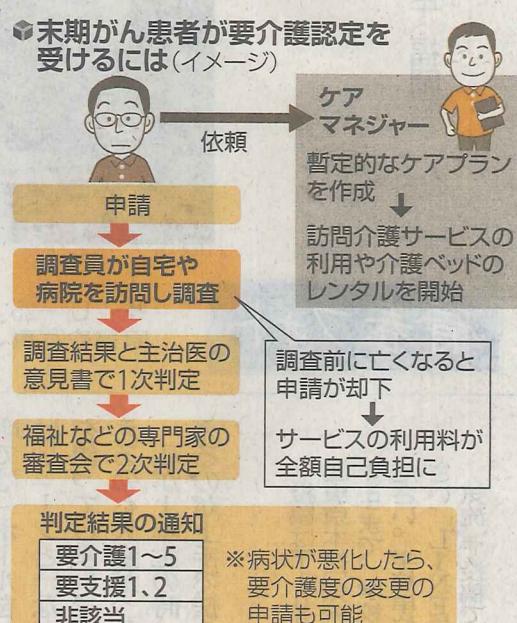
訪問調査の日程は、申請の2日後に設定されたが、体調が悪化して受診したため、さらに4日後に延期になった。しかし、女性は調査の前日に亡くなった。

本来は自己負担分の1割に当たる月1000円程度でレンタルでききたが、女性の場合、全額の約1万円の負担となり、家族が支払った。調査員

末期がん患者が退院後の在宅生活で利用した介護保険サービスの費用を患者側が全額自己負担せざるを得ないケースが生じている。本来は原則9割が保険から支給されるが、手続きが済む前に亡くなると、認められないからだ。患者団体は、症状の進行が速い末期がん患者のため、手続きの迅速化を求めており、国が新たな対策に乗り出した。

(河野越男)

## 末期がん患者 要介護の調査前に死亡



暫定利用した  
サービス料  
全額自己負担

期がん患者であれば使える  
が、全国がん患者団体連合会  
の桜井なおみ理事は「患者や  
家族、医療従事者に浸透して  
おらず、調査の申請が遅れる  
場合がある」と指摘する。  
さいたま市では22年度、40  
～64歳の末期がん患者で調査  
前に亡くなつた人が31人い  
た。日程を調整中に亡くなつ  
たり、病状が安定せずに調査  
がキャンセルされた後、亡く

なつたりするケースがある。市によると、末期がん患者への訪問調査は優先的に行っている。申請から訪問までの平均期間は通常約14日だが、40～64歳の患者の場合は約30日。それでも、毎年30人程度で調査前に亡くなるという。

桜井理事は「要介護認定を受けられず、介護費用を全額自己負担せざるを得ない状況は、介護する家族にとって々

のうち、原則9割分を市の算で家族らに交付している。20～23年度に計14人を対象に、1人あたり2万～3万円を支援した。市の担当者は「自宅で最期を迎える患者や家族の気持ちに応え、経済的負担を軽減したい」と話す。

全国がん患者団体連合会は3月に開かれた内閣府の規制改革推進会議の作業部会で、国に認定調査の簡略化を要望

若年性認知症など  
40~64歳でも対象

### 介護サービス利用

介護保険サービスを利用できるのは原則、65歳以上の高齢者だが、40～64歳の人でも、国が定めた一定の病気が原因で介護が必要になった場合には、サービスを受けられる。

40歳以上が保険料を納める介護保険制度が2000年度に始まった時、指定された病気は若年性認知症やパーキンソン病、関節リウマチなど15種類だった。末期がん患者からサービスの利用を望む声が強く、国が06年に末期がんを追加し、計16種類になった。

末期がん患者の中には、入院中や退院直後に訪問調査を受けた時点では、食事やトイレなど身の回りのことは自分でできる人もいる。病状が悪化して手助けが必要になった時に、要介護度を見直してもらう申請もできる。要介護度が重いほど多くのサービスを利用できるようになる。

に心身の状態を確認してもらう訪問調査の前に亡くなるサービスを受けられるよう、要介護度を判定できないことから、保険から割分の費用が支給されないためだ。富田さんは「入院中の早い段階で申請をして、調査が間に合っていれば、全額自己負担になるのを避けられた」と振り返った。

◇

末期がん患者は病状の進行が速く、急速に状態が悪化しやすい。このため、厚生労働省は2010年、末期がん患

者が退院後、スムーズに介護サービスを受けられるよう、医療機関とケアマネジャーの連携や、市区町村による認定業務の迅速化などを求める通知を出した。

しかし、国立がん研究センターが、がん患者の遺族らを対象に行つた実態調査（19～20年）で、介護保険から費用が支給される条件の訪問調査を受ける前に亡くなるケースは複数確認されている。

介護サービスは、高齢者だけではなく、40～64歳でも未



末期がん患者の日記を示し  
病状悪化について説明する  
井理事（東京都内で）＝画  
は一部修整しています

自治体もある。神戸市は、できるだけ申請のあつた日の翌日、調査員を派遣する。この緊急調査は毎年90件ほどあるという。わい、訪問の前に亡くなつて申請が却下となつた場合でも、患者側が負担した費用

用 古 な は 貢 請 る  
通知を出した。